

# 専攻建築士紹介



米山一級建築士事務所

**米山 滋**  
〔設計専攻〕

## 建築士と社会貢献

---

3年前新潟県中越地震で私の田舎新潟県越路町も大きな被害を受け東京建築士会の連絡を受け、応急危険度判定の手伝いに2004年11月9日夜、池袋からリックサックに必要な物を詰め高速長岡バス停に降りました。傾いている電柱、陥没している道路を懐中電灯で照らしながら1時間歩いて長岡市緑町コミュニティセンターに到着し、状況と作業予定を聞きリックサックを枕代わりに毛布1枚で体育館の中で寝ました、時間は3時頃だと思いますが強い余震が館内を揺り起こし、眠っていた皆が獣の様に四つんばいで起きていました。翌日東京建築士会のグループで持分を振り分け2人一組で長岡市、小千谷市、堀之内方面と21時過ぎまで建物の調査をし、それを集計してその日の作業をとりあえず終え各自廻りのスーパー、食堂で営業している店を探し各自食事を済ませてその日の事を話して休むだけでした。

6年前の1月、神戸メリケンパークで阪神淡路大地震の講演を聞き建築士として建築を通して1つでも参加出来ないかと考えておりました。出来るだけ自分と関係があり、余裕のある時間で建築に携わる者同士が連帯して物事を遂行し意見や見識を聞き又その件で話し合い、自分自身の業務の中にどう生かすかを問われているのだと考えています。建築偽装事件も阪神淡路大地震で行政が建築確認を速やかにする為に行ったと聞いておりますがその民間建築確認審査機関の目を掻い潜ってこの様な事件が引き起こされ、未だに解決されないで辛い生活を送っている現実、またぎりぎりの要求と時間を求められている建築士も会社から従属又は所属し建築士としての立場の弱さは変わらないままです、その為にも技術革新の進歩の中、日々研鑽を積み、連帯しながら新しい知識を習得しクライアントの話をよく聞きよりよい物をクライアントの希望する建物を提案して行きたいとC P Dの活動、参加、自習型を通して自己研鑽しC P Dもその一つの方法と考えて実践と表現をして共に考えて行きたいと思えます。